

2022年度予算 東灘区関連 (一部抜粋・一部2月補正予算含む)

子育て世帯への支援を充実させます!

- 市内高校生に対して公立私立問わず通学定期券購入費を補助 (所得制限なし・年額14万4,000円を超える費用の1/2・9月より開始予定)
- 妊娠や出産への不安軽減のため、保健師による相談に加えて新たに助産師を派遣
- 児童虐待防止対策を強化。一時保護された子どもの意見を第三者(弁護士)が代弁する「意見表明支援制度」を創設



子ども・若者への支援を強化します!

- 4月から成年年齢が18才に引き下げられることに伴い消費者教育を実施
- 18才未満のヤングケアラーがいる世帯に無料で家事ヘルパーを派遣 (1回2時間・月4回・8月開始予定)
- 神戸市看護大学における優秀な学生の確保と市内就職を促進 (2023年4月入学の市内学生は入学金28万2千円→14万1千円に 同年3月卒業より市内就職奨励金14万1千円支給)

ヤングケアラーの実態調査 (厚生労働省) BE KOBE

世話をしている家族が「いる」	中学2年生: 5.7%	高校2年生(含日朝): 4.1%
世話について相談した経験が「ない」	中学2年生: 67.7%	高校2年生(含日朝): 64.2%
自分の今の状況について話を聞いて欲しい	中学2年生: 12.9%	高校2年生(含日朝): 16.6%

くらし・健康・安全を守ります!

- 六甲アイランド、天神川などにおいて近年の台風を踏まえ更なる高潮対策を実施
- コロナ禍に直面する生活困窮者への支援として、食料・衛生用品の提供と相談会を実施
- ひとり親家庭の資格取得をサポート。オンライン無料講座を開催し、資格取得者に就職準備金5万円を支給
- 管理に課題を抱えるマンション管理組合へ専門家チームを派遣し適正な管理に向け支援
- 銭湯の活性化と若い世代の利用促進を目的に、市内大学生の無料入浴期間を実施 大人と子どもで銭湯を利用した場合の入浴料割引は回数無制限に拡充



駅前リニューアルなどまちづくりが進みます!

- 阪神電鉄立体交差事業 無電柱化に向け電線共同溝の整備
- 西岡本7丁目コミュニティバス運行に向けた試験運行を実施 (路線、時刻、交通事業者の選定などの調整後2022年度実施目標)
- 御影山手公園(御影山手3丁目)子どもがボール遊びができるようフェンス改修と広場整備
五反田公園(本山中町4丁目)遊具の更新



市内の経済を活性化します!

- ファッション産業など地場産品の購入に利用可能なWebクーポンを発行 (最大3割引・1人3万円まで)
- 神戸で「灘の酒」を飲もう! キャンペーンの実施。灘の酒を提供する飲食店を巡るスタンプラリーなど開催
- 商店街・小売市場で利用できるプレミアムお買物券発行 (1セット6,000円分を5,000円で販売)



東灘図書館が便利になります! (2023年1月以降予定)

- 予約図書セルフ受取棚を設置し待ち時間の短縮を図るとともに、座席の事前Web予約を導入し利用者の利便性向上
- マイナンバーカードと図書カードを連携しカードを1枚に



最後までお読み頂きありがとうございました。

政治家はホワイトキャンパスでもあります。皆様からのご要望などお待ちしております。

子育て、教育、暮らし、地域課題などお気軽にご相談下さい!

大野 陽平

〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町2丁目17-21 615
☎078-851-6996 ☎080-1459-2347
✉yoheiho11@gmail.com



自由民主党
神戸市会議員

大野 陽平

市政報告(東灘区版) 2022年4月号

【発行元】
自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5846



ごあいさつ



3月3日建築住宅局審査

皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。現在神戸市会では2022年度予算議会が開会中で、3期目の市政運営に当たる久元市長は予算案発表に際し「コロナに打ち勝ち、人口減少対策として若者が魅力を感じる街にし、地元経済を盛り上げ持続可能な街に進化させたい」と述べました。一般会計は昨年度比で微増の8,869億円、特別会計と企業会計を含む総額は1兆8,804億円となります。内容は多岐に渡りますが、コロナ対策を進めつつ、教育や経済活性化などのソフト面と三宮再整備などのハード面への投資を行い、特に子育て支援に力を注ぐ内容だと感じました。政令市では初となる高校生の通学定期券購入補助や妊婦さんへの支援充実、ヤングケアラーへの訪問支援など、将来世代を支える施策が多く盛り込まれています。今号では予算特別委員会における建築住宅局と交通局の質疑と地元活動の一部をご報告させていただきます。コロナ禍で3度目の春を迎える中、様々な支援策一覧も同封いたしましたのでご参考になりましたら幸いです。引き続き東灘区と神戸の未来をより良くできるよう取り組んでまいります。今後も変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまのご多幸とご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

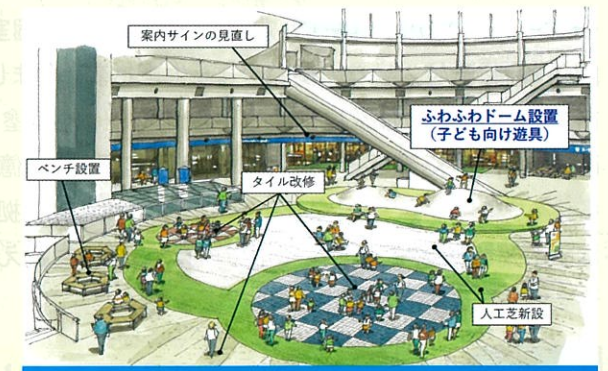
六甲アイランド 続々とリニューアル!



市民体験農園オープン!

子どもたちの食育、多世代・住民交流を目的として開園。農家の方による栽培指導も実施されるので初めての方も気軽に始められます。場所はアイランドセンター駅から南へ徒歩1分。料金や空き区画などの詳細は下記までお問い合わせ下さい。

六甲アイランド農園 0798-23-2438



ふわふわドーム誕生!

子どもが思いきり飛び跳ねることができるトランポリン遊具「ふわふわドーム」が5月にファッションプラザに誕生します! 天候に左右されず遊ぶことができます。それと合わせて床面人工芝化、スペイン階段美装化も行われ、秋にはリバーモールに足湯施設も整備される予定です。



予算特別委員会の映像は、
神戸市会のHPでご覧頂けます。

神戸市会ホームページ
☑ スマホのカメラからQRコードを読み込んで表示
☑ www.kensakusystem.jp/kobeshikai/



東灘区

子どもたちの通学路を安心安全に!

住吉山手5丁目にある神戸大学附属中等教育学校の通学路は、隣地の木々に囲まれ日が暮れると大人も不安を感じる程の暗闇となり、保護者や近隣住民の方々からご相談をお受けしていました。歩道が1m程と狭く街灯設置が進みませんでした。このたび東部建設事務所に工夫していただき、通行の妨げにならないよう設置することができました。区内には横断歩道のない危険な通学路などもあり、引き続き安心安全に向けて取り組んでまいります。



神大附属前の通学路

東灘区

マリパーク駅ににぎわいを!



マリパーク駅1階部分

六アイ高校の最寄り駅であり、南側には200世帯超えのマンションの住民が暮らしています。東京五輪で注目されたスケートボードのパークや夏場のデカパトス利用者が乗降客数が増加していますが、駅1階部分はテナント退去後、放置された状態が続いていました。このたび六甲ライナー運営会社と協議を行い、六アイ高校生と協業し1階窓ガラス部分を使い、アート作品でにぎわいを演出することとなりました。

東灘区

魚崎南地域福祉センターのお手洗いリニューアル!

婦人会はじめ地元の皆さまから市にご要望いただいたお手洗いのリニューアル。先日工事が終わり、個室化、段差解消、配管入替など使いやすく生まれ変わりました。市内には193の地域福祉センターがあり、外壁塗装や改修、備品の修理などのための予算は年間約1.3億円と多くありませんが、地域福祉センターは地域活動の拠点となる重要な施設です。コロナ後の地域活動を見据え使いやすい施設整備に取り組んでまいります。



魚崎南地域福祉センター

神戸市

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議案可決!



3月1日臨時本会議

自民党神戸市議員団の呼びかけで3月1日に臨時本会議を開き、「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議案」を全会一致で可決しました。また市と市会の連名で、ウクライナの子どもたちへの緊急支援として1,000万円をユニセフに寄付いたします。

神戸市

市営住宅の跡地は早急に活用方針を!



3月3日建築住宅局審査



本山神岡住宅

建築住宅局は若い夫婦や子育て世帯向けの神戸への移住施策や空き地・空き家対策などを行っています。また公共施設(学校や図書館、区役所など)の中で延床面積が最も大きい市営住宅も所管。私からは「住み替え支援」「市営住宅」「マンション管理届出」について質疑を行い、「市営住宅跡地の活用」を強く要望いたしました。利便性に優れた跡地も多く、市は活用方法について早急に方針を示すべきと考えます。東灘区においては、JR甲南山手駅から徒歩3分の本山神岡住宅、JR住吉駅から徒歩5分の宮の前住宅、阪神青木駅から徒歩10分の青木団地などの跡地があり、今後廃止される住宅もあります。住民退去後3~4年経つ中、建物が解体されず廃墟化しているものもあります。近隣への影響や空き地・空き家対策に携わる局としても、早期に活用方針を示すべきと考えます。また東灘区は子育て世帯に人気の区であり、人口対策の牽引役となる区です。移住施策を行う局としてもしっかりと取り組む必要があります。上記跡地をはじめ市有財産の有効活用、子育て施策の推進について今後も働き掛けを行ってまいります。

神戸市

市バス営業所の有効活用を!

交通局は市バスと市営地下鉄を事業とし、主に乗車料収入で経営を成り立たせる公営企業です。コロナ禍で大きな影響を受けており、2022年度もバス・地下鉄事業ともに赤字の見込みで、燃料費高騰もあり厳しい状況にあります。私からは「市バス営業所の空中や空きスペースの有効活用」「車内アナウンス空白時間の活用」「女性運転士の採用」など大きく6点質疑を行いました。在宅ワークの浸透などにより乗車料収入の増加が見込めない中、保有資産を有効活用することが重要で、私からの「石屋川など市内に7ヶ所ある営業所を活用し、建物を高層化し上の階を賃貸するなど大胆に検討することが必要では」という質疑に対し、交通局からは「遊休資産活用は進んだが、バス営業所など使用中の資産に関してもアイデアを絞って活用に挑戦したい」と答弁がありました。公営企業は企業としての経済性と公共福祉の増進を両立させることを原則としています。一般会計からの支援強化を含め、「市民の足」として市民サービスに影響が出ることのないよう取り組んでまいります。



3月4日交通局審査

新型コロナウイルス感染症に伴う各種支援 2022年3月7日時点

<p>子どもたちを支援し、その未来を拓く</p>	<p>子育て世帯への臨時特別給付</p>	<p>児童を養育している者の年収が960万円以上(注1)の世帯を除き、0歳から高校3年生までの子供たち(注2)に一人当たり10万円相当の給付(注1)扶養親族等が児童2人と年収103万円以下の配偶者の場合の目安(注2)平成15年4月2日から令和4年3月31日までの間に出生した児童</p>	<p>神戸市子育て世帯生活支援特別給付金コールセンター 078-277-3322(平日8:45~17:45)</p>
<p>様々な困難に直面した方々の生活・暮らしを速やかに支援</p>	<p>住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金</p>	<p>住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円の現金を給付 対象者:1.世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯(住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。)2.上記1のほか新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、同様の事情にあると認められる世帯</p>	<p>神戸市暮らし支援臨時特別給付金コールセンター 078-777-4352(平日9:00~17:00)</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある学生等の学びを継続するための支援</p>	<p>学生等の学びを継続するための緊急給付金</p>	<p>高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金・授業料等減免)の利用者又は一定の要件をもとに大学等が総合的に判断の上、推薦する者に対して、一律10万円を給付 ※対象学生:国公立大学(大学院を含む)・短大・高専・専修学校専門課程・法務省告示に指定される日本語教育機関(注)留学生を含む</p>	<p>各大学等の学生課等の窓口</p>
<p>収入減で生活が苦しい</p>	<p>緊急小口資金・総合支援資金 申請期間:令和4年6月30日まで</p>	<p>令和4年1月以降新規申請の方は最大80万円(二人以上世帯)、最大65万円(単身世帯) 令和4年12月末以前に返済時期が到来する予定の貸付について ※返済開始時期を令和5年1月に延長 ※令和4年4月以降の特例貸付申請分の返済開始時期は令和6年1月</p>	<p>東灘区社会福祉協議会 078-841-4131(代表)</p>
<p>収入減で生活が苦しい ※緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯の方へ</p>	<p>新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 申請期間:令和4年6月30日まで</p>	<p>緊急小口資金及び総合支援資金(初回)を借り終えた/総合支援資金(再貸付)を借り終えた一定の世帯等に対して単身世帯6万円、二人世帯8万円、三人以上世帯10万円を3ヶ月間支給 初回支給に加えて、3ヶ月間の再支給も可能</p>	<p>厚生労働省コールセンター 0120-46-8030(平日9:00~17:00)</p>
<p>休業による収入減で住居を失うおそれ</p>	<p>住居確保給付金 申請期間なし(3か月間の再支給の申請期間は令和4年6月30日まで)</p>	<p>原則3か月、最長9か月家賃相当額を支援 支給が終了した方へ3か月間再支給</p>	<p>東灘区くらし支援窓口 078-841-4131(代表)</p>
<p>自立に向けて取り組むひとり親世帯の方々に</p>	<p>償還免除付ひとり親家庭住宅支援資金貸付</p>	<p>月上限4万円×12か月の住宅賃借資金の無利子貸付 1年就労継続なら一括償還免除</p>	<p>神戸市ひとり親家庭住宅支援資金貸付窓口 050-5444-8411(平日9:00~17:00)</p>
<p>コロナで学びの継続が困難</p>	<p>高等教育の修学支援新制度 家計急変の採用は随時</p>	<p>学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金(返済不要)と授業料減免</p>	<p>各大学等の窓口または日本学生支援機構奨学金相談センター 0570-666-301(平日9:00~20:00)</p>
<p>望まない孤独や孤立などの悩みに寄り添います</p>	<p>孤独・孤立等に関する支援制度、相談窓口</p>	<p>神戸市は市民の皆さまに寄り添います。ひとりで抱え込まず、早いうちにご相談ください。</p>	<p>神戸市こころの健康電話相談 078-371-1855(平日10:30~18:30) ひきこもり相談 078-361-3521(平日9:00~17:00)</p>

生活を守る



新型コロナウイルス感染症に伴う各種支援 2022年3月7日時点

雇用を守る

事業を守る

雇用を維持したい

雇用調整助成金
※特例措置は令和4年6月末まで(予定)

一定の要件を満たす場合
休業手当等の**最大10/10**を助成(日額最大15,000円)

兵庫労働局コールセンター
0120-221-276
(平日8:30~20:00 土日祝8:30~17:15)

休業期間中
賃金が支払われない

新型コロナウイルス感染症対応
休業支援金・給付金
令和4年6月末まで(予定)

中小企業で働く従業員(パート・アルバイト含む)に対して**日額最大11,000円**を支給
大企業で働く一部の従業員も対象に

新型コロナウイルス感染症対応
休業支援金・給付金コールセンター
0120-221-276
(平日8:30~20:00 休日8:30~17:15)

新型コロナウイルス感染症に係る
小学校等の臨時休業等により
仕事を休まざるをえない
保護者の皆さまを支援

小学校休業等対応助成金・
支援金

一定の要件を満たす場合
休暇中の**賃金相当額×10/10**を助成(日額最大15,000円)
委託を受けて個人で仕事をする保護者の場合
1日当たり最大7,500円(定額)を助成

厚生労働省コールセンター
0120-603-999
(土日祝含む9:00~21:00)

給付金を受給しながら
職業訓練を受講する

求職者支援制度
職業訓練受講給付金
※特例措置は令和4年3月31日まで

雇用保険を受給できない方に**月10万円**の給付金と**無料の職業訓練**の支援

ハローワーク神戸 078-362-8609
ハローワーク灘 078-861-8609

資格取得を目指す
ひとり親世帯の方々に

高等職業訓練促進給付金

訓練期間中に**月10万円、最長4年**
最短6か月のデジタル分野等の民間資格等も対象に

東灘区役所
保健福祉課こども福祉担当
078-841-4131(代表)

新型コロナウイルス感染症の
影響で売上が減少している
事業者に対して給付金を支給

事業復活支援金の支給

令和3年11月~令和4年3月のいずれかの月の売上高が50%以上または30%~50%未満減少した事業者
売上高50%以上の減少:上限 **法人250万円、個人50万円**
売上高30%~50%未満の減少:上限 **法人150万円、個人30万円**
※法人の上限額は、売上高に応じて3段階

事業復活支援金相談窓口
【申請者専用】0120-789-140
【登録確認機関専用】0120-886-140
(土日祝含む8:30~19:00)

売上減で資金繰りが厳しい

実質無利子・無担保融資
日本公庫・商工中金の申請期間:
令和4年6月末まで

3年間実質無利子最長5年間元本据置
公庫(国民):最大6千万円
公庫(中小)・商工中金:最大3億円

日本公庫→0120-154-505
(平日9:00~17:00)
商工中金→0120-542-711
(平日9:00~17:00)

新分野展開や業態転換で
事業を立て直したい

事業再構築補助金
第5回公募期間:令和4年1月20日~3月24日
第6回公募以降では事業類型や要件が大幅に
変更になる予定です

新分野展開や業態転換等の事業再構築に取り組む場合、**上限1億円**までを**最大2/3(中堅は1/2)**で
補助。さらに時短営業の飲食店や外出自粛の影響で令和3年1~9月のいずれかの月の売り上げが
30%以上減なら補助率を**3/4(中堅は2/3)**に引上げ(上限1,500万円)

事業再構築補助金事務局
<ナビダイヤル>0570-012-088
<IP電話>03-4216-4080
(日曜日を除く9:00~18:00)

神戸市が申請にかかる費用を
補助します

事業再構築補助金の
活用促進助成金

事業再構築補助金の申請にかかる費用の**2分の1(上限25万円)**
(事業再構築補助金の採択・不採択に関わらず交付します)
申請受付期間:事業再構築補助金の第5回目公募分
令和4年3月22日~令和4年6月30日

神戸市経済観光局経済政策課
078-891-3924





3月7日 経済観光局

※質問項目のみ掲載します。

- 六甲山・摩耶山の活性化について
(1)六甲山ビジネス拠点の推進について
①「六甲山 森のオフィス」における不動産マッチング実績
②2拠点ワークスタイルの普及促進について
(2)特色ある摩耶山の活性化について
(3)マウンテンバイクを活用した新たなレジャーについて
企業版アーバンイノベーション神戸について
(1)市内中堅・大企業の課題の掘り起こしについて
(2)市外企業の参加について
須磨海釣り公園の活用について



3月9日 文化スポーツ局

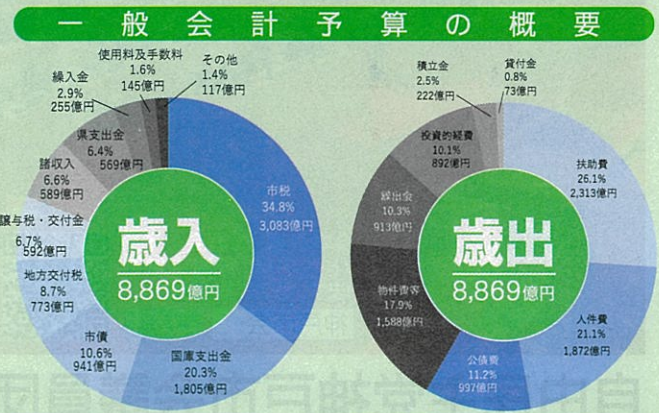
※質問項目と一部質問内容のみ掲載します。

- 自然の家のリニューアルについて
王子公園の再整備について
ポートアイランドスポーツセンターの再整備について
質問:吉田健吾
HAT神戸にある「人と防災未来センター」北側の交通広場は暫定利用でタイムパーキングとして使用されている。交通広場機能を維持しつつ、その上に別の機能を持つ施設を建設することが可能であれば、使い道の自由度が出てくるのではないかと。アイススケートやスケートボード、BMX、クライミングなど、新しくオリンピック種目に採用されたスポーツなどの施設に整備し、HAPPY ACTIVE TOWNを代表する、よりアクティブな使い道を検討してはどうか。
こども本の森 神戸について

令和4年度神戸市の予算 海と山が育む グローバル貢献都市の実現

予算総額:1兆8,804億円 (前年比:+273億円)

- 一般会計:8,869億円(前年比:+165億円)
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などによってまかなわれます。
特別会計:6,605億円(前年比:+70億円)
特定の収入で特定の事業を行う会計です。国民健康保険や介護保険、市営住宅など、神戸市では11会計あります。
企業会計:3,330億円(前年比:+38億円)
主に利用者みなさんが支払う料金収入等で事業を行う会計です。バスや地下鉄、上下水道など、神戸市では7会計あります。



一般会計の支出を 58万円にします



神戸市新型コロナワクチン接種のお知らせ
新型コロナウイルスワクチン接種について
3回目接種予約のご案内など
神戸市新型コロナウイルス専用健康相談窓口 078-322-6250

神戸市政報告 灘区版



自由民主党神戸市会議員団 神戸市会議員 灘区 吉田健吾

本会議場で質問する 神戸市会議員 吉田健吾

令和4年度神戸市予算 「くらしの質」を重視した施策を強化 SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現

年初より猛威をふるったオミクロン株による新型コロナウイルス第6波が、ようやく減少傾向といえる段階となりました。1月27日から兵庫県内全域で続く「まん延防止等重点措置」の解消もまもなくといった状況であると思えます。しかしながら、三回目ワクチンの接種など、感染予防の徹底をはからなければならないことには変わりはありません。引き続き万全を期して、コロナ禍とその後を見据えた施策に全力で取り組んでまいります。
さて、令和4年第1回定例会市会が開催され、私は自由民主党神戸市会議員団を代表し、「王子公園再整備について」を始めとする喫緊の重要課題について質疑を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしましたので、ぜひご一読ください。

令和4年度神戸市予算は下記の「7つの柱」に沿って、市民の命と健康を守り、コロナ後の新たな時代をリードする施策を積極的に展開するものとなっています。限られた予算の中からより良い神戸を未来に残せるよう、さらに努力してまいります。

- 7つの柱
1.コロナとのたたかいに打ち克つ
2.健康・安全を守る
3.温もりのある地域社会を創る
4.のびやかなくらしと環境を創る
5.力強い神戸経済を創る
6.未来に輝く神戸の街を創る
7.DXの活用による市民参加を進める

3月9日までに議会で示された見解をまとめました。しっかり議論してまいります。 王子公園再整備に関する神戸市の見解

Table with 3 columns: 自由民主党神戸市会議員団からの質問, 神戸市の見解, and 議員名

灘区制90周年 灘だんじり巡行 秋への延期決定!!
灘区政90周年を祝うことを目的として、灘地区7基の地車が初めて集結する記念巡行です。※開催日が決まり次第、ホームページでお知らせします。



議事録抜粋
令和4年
第1回定例会
代表質疑
自由民主党神戸市会議員団
吉田健吾
令和4年2月24日
神戸市会本会議場

1. 令和4年度予算と今後の市政運営について

■質問:吉田健吾
コロナ後の神戸の将来を見据え、人口減少や少子・高齢社会など、社会経済状況の変化に起因する課題に対応しながら、前に進んでいかなければなりません。将来にわたって持続可能な都市経営をおこなっていくために、今後の市政運営における基本的な考え方について伺います。

■答弁:久元市長
まず、一番大事なことは、目の前の危機、オミクロン株などの感染が拡大している中で、いかに抑え、感染された方々に対して適切な医療を提供し、必要なケアをおこなっていくということ。そして、コロナ後の経済社会がどのような姿になるのかということの思い描きながら、市民福祉の向上と神戸経済の発展を図っていくということが、大事な課題であると考えています。

コロナ後の社会は、命と健康の価値が高まるのではないかと思います。神戸が取り組んできた神戸医療産業都市の価値も高まり、その役割が重要になるということ、これを踏まえる必要があると思います。また、狭いエリアに人々が集まって暮らすという価値観が見直され、ゆったりとした環境の中で働き、暮らすことが尊ばれるようになる可能性があるのではないかと、神戸には、豊かな山、自然環境がある。そのポテンシャルを發揮させていくという視点が重要だと思えます。したがって、令和4年度予算編成におきましては、コロナ対策、神戸の未来を担う人材への投資、神戸経済の活性化、神戸の豊かな自然環境の保全・活用などの分野におきまして、取り組みを加速させることとしました。

2. 王子公園の再整備について

■質問:吉田健吾
王子公園再整備は、灘区内での久々の大型プロジェクトとして期待しています。ただ、再整備のコンセプトやゾーニングなど、市の考え方が十分伝えられておらず、「再整備基本方針(素案)に対するパブリックコメント」では多数の意見が寄せられました。その多くはここに至る議論が十分ではなかったことに起因していると感じています。説明や議論の不足を強く指摘をさせていただきたい。その上で改めて、今回の再整備がどのような目的で実施されるのか、市長のご見解と本事業への想いをお伺いします。

■答弁:久元市長
改めて今回の再整備の目的につきまして、丁寧に説明する必要があると考えています。これまで名谷、西神中央、垂水の市西部を皮切りに、駅周辺の再整備を進めてきました。市東部に位置する王子公園周辺は、文化、教育、スポーツ施設が集積する文教エリアとして発展し、全市的にも極めて重要な地域ですが、公園内の各施設の老朽化が進んでおり、そのポテンシャルが十分に活かし切れていないと考え、優先順位を高くし、投資をおこなうべく再整備に取り組むこととしました。まず王子公園のシンボルである王子動物園のリニューアルに取り組むこととしました。

■質問:吉田健吾
何大学が来るか分からない中で、本市にとって、灘区にとって大切なあの場所を、どうぞ使ってくださいと単純には言える問題ではないと思っています。どのような大学が来て、どのようなことがなされて、どのような効果が、市民、区民、地域にあるのか。その点について大学誘致の趣旨を踏まえて、伺います。

■答弁:久元市長
神戸で若い世代が働き、暮らし、学ぶようなまちにしていく上で、大学誘致は、非常に有力な政策手段ではないかと考えてきました。まず、若年人口をさらに流入、定着させていくという上で有力な施策であるということです。市内への就業人口の増加にもつながっていくはずで、

もうひとつは、この王子公園のエリアは、大変利便性の高い文教エリアとしてのポテンシャルを備えているということです。イノベーション機能の強化、国際性、多様性の創出という意味での優秀な人材の確保、育成、輩出をする場として、ふさわしいのではないかと。それから、大学の誘致は、地域商業などへの高い経済効果とにぎわいを創出する効果を持ち、地域活動への貢献という面も期待できます。神戸2025ビジョンで目指す、海と山が育むグローバル貢献都市の観点にふさわしい、地域に開かれた競争力の高い大学を誘致していきたい。

■質問:吉田健吾
遊園地は廃止するという前提になっていますが、工夫次第では残すこともできると思います。この地は、古くから原田の森と言われています。全体を森と捉え、ゾーニングをぐるっと入れ替えると、王子公園駅を降り立つと、エントランスゾーンがあり、森の入り口があり、摩耶山が背景にそびえ立っていて、左手には動物たちの森があり、森の遊園地があり、にぎやかな子どもたちがいる。右側にはスポーツの森があって、体育館やスタジアムがある。そして、それを進んでいくと、静寂の中に学術の森がある。こういった構図で考え直すことも、まだ私はできるんじゃないかと思えます。ゾーニングの再考について伺います。



■答弁:今西副市長
王子公園再整備の方向性や土地利用、ゾーニング、さらには配置される施設の代替機能などについて、一定の見直しを図っていく必要があると考えています。

大学には開放的な空間を求めていると考えており、駅前に位置するエントランスゾーンと一体的な空間とすることで、利便性の高い文教エリアのポテンシャルを、さらに高めることができるのではないかと考えています。

スポーツ施設は体育館や弓道場が位置する北側に集積することで、スポーツ拠点として強化できると考えたが、今後どのような工夫ができるか、駐車場の位置も含め、ゾーニングを再検討していきたい。遊園地につきましては、市民意見募集でも、「小さな子どもが遊べる遊園地は少ないのでなくさないでほしい」といったご意見も頂いておりますことから、公園内に子どもたちが遊べる場所は必要と考えています。地域や利用者の皆様と対話しながら、考えてまいります。

■要望:吉田健吾
そこに住む人々、そこで商売をする人々のご意見を丁寧に聞いて、そして取り入れていただいて、説明をしっかりと尽くす。見直すところは見直す。こういった姿勢を持って、取り組んでいただきたい。

王子公園の再整備に関する情報→

3. 摩耶山の活性化について

■質問:吉田健吾
六甲山グランドデザインにおいて、六甲山はアート空間やクリエイティブなオフィス空間、レジャー、体験型施設など、多くの人々が集い、にぎわう場所とされており、令和4年度予算にある歩道整備や、都心と山上の2拠点ワークスタイルの普及促進など、大いに期待しています。

一方で、摩耶山は歴史や文化、自然環境を最大限に活用し、地元の裏山として親しまれています。教育に資する施設が多くあり、令和4年度予算では、自然の家のリニューアル活性化に向けた再整備方針の策定費用が計上されています。社会教育施設であることから、収益性のみを求めめるのではなく、市内学校園の自然体験活動の場としての利用をさらに推進するべきであると考えます。また、一般も含めた子どもたちや青少年がより集まる、学びの場となるよう工夫が必要で、再整備方針と併せてご見解をお伺いします。

■答弁:小原副市長
自然の家の活性化に向けて、サウンディング調査を行ったところ、立地上の優位性はある一方で、施設の老朽化や野外活動体験の充実が必要との点の指摘がありました。学校利用での子どもの自然体験の場としての機能を向上させるとともに、幅広く一般の子どもたちの学びの場となるように、再整備方針をまとめていきたい。

また、事業者が主体的にプログラムの開発やアクティビティの充実が図れるようにしながら、引き続き子どもたちに自然体験を提供できる魅力的な施設運営を目指したい。

4. 児童館のさらなる活用の可能性について

■質問:吉田健吾
子ども食堂、学習支援、ユースプラザ、ユースステーションなど、現在実施されている様々な居場所づくり事業は全ての校区で提供されることが理想で、児童館の活用の幅を広

げることが有効なのではないかと考えます。やりたいと思う児童館が手を挙げれば、それに対して積極的に支援をしてはどうか。児童館の持つポテンシャルを引き出すことで、子どもの居場所づくりの充実を図ることができると考えますが、ご見解をお伺いします。

■答弁:小原副市長
現在、神戸市において117館の児童館を設置しています。子どもの居場所の実施にあたっては、実施場所の確保が課題の1つとなっていますので、児童館を居場所づくりの場として活用している事例もあります。また、一部の指定管理者の中には、中高生を対象として取り組みを上げていくという動きもあります。今後は学童保育の状況や地域のニーズを注視しつつ、幅広い年齢層の児童を対象とした事業を柔軟に行えるよう、独自の取り組みに対する支援について、検討してまいります。

5. 令和の時代における学校業務と活動について

■質問:吉田健吾
業務や活動の本来の目的の見直しや、役職や職種に応じた業務の標準化など、令和の時代における学校の業務と活動に関する方針が示され、高く評価しています。

今後さらに検討や議論を重ねていくとのことですが、思い切った取り組みを期待しておりますので、教育委員会の意気込みとご見解をお伺いします。

■答弁:長田教育長
今回の取り組みは、これまで長年にわたりまして、当然のものとして取り組んできた業務や活動が、そもそも本当に必要なものなのかどうか。また、必要以上に手間や負担をかけていないかどうかといった観点から、根本から見つめ直していくとするものです。第一弾は、あくまでも今後に向けたスタートとなるものと考えており、第二弾以降の検討にあたりましては、学校や教員がこれまでの業務を担うべきかといったようなことなどにつきまして、令和4年度中に方針をまとめたいと考えています。今回の取り組みが実を結ぶものとなるためには、教職員1人1人が主体的に、かつ積極的に業務や仕事の仕方や進め方を見つめ直し、言うならば1つの運動というようなものにしていくことが重要ではないかと考えています。



神戸市会本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継を行っています。ぜひご覧ください。
神戸市会 検索

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 灘区

吉田健吾

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

市政報告

令和4年度 予算特別委員会 局別審査

建設局/福祉局

紙面の都合上、質問項目と一部質問のみ掲載。

建設局

3月7日

■新垂水体育館への動線整備について

■質問：しらくに高太郎/歩道橋の在り方を検討する中で、エレベーターの設置を含めたバリアフリー化が出来ないかと昨年から申し上げておりますが、その後の検討状況はいかがか。また、既存の歩道橋から西水環境センターまで、真っすぐに歩道橋を伸ばすというぐらゐのことも、あわせて検討してもらいたい。

■交通安全対策について

■1号館前の通路について

■私道の公道化、下水道引継ぎについて

■質問：しらくに高太郎/垂水区内においても、様々な経緯から、幅員の狭い私道がある。沿道の方が協力して公道化に向けた動

きをとることがあるが、公道化の方向性が見えたとしても、道路下にある下水道については別の基準になるとのことだ。その場合、結果的に道路は公道だが、下水道を市へ引き継げないため、私の下水道のまま沿道のみみなさんと管理し続けるということになってしまう。道路が公道化できるのであれば、それによって下水道も市で管理するという取り扱いにすべきだと思うがいかがか。

■電柱のスリム化について

福祉局

3月8日

■市内企業・事業所への障害者雇用の促進

■重症心身障害児者の受入体制について

■特別養護老人ホーム等の整備について

■質問：しらくに高太郎/比較的費用負担の軽い特別養護老人ホームは特に重要度の高いものであると考えている。特別養護老人ホームの入所待ちの方は全国で29万人いるとされている。神戸市における入所待ちや施設整備状況や特別養護老人ホーム等を含む介護保険施設整備にかかる今後の展開について伺いたい。

■民生委員不足について



令和4年度神戸市の予算

海と山が育む
グローバル貢献都市の実現

予算総額: 1兆8,804億円

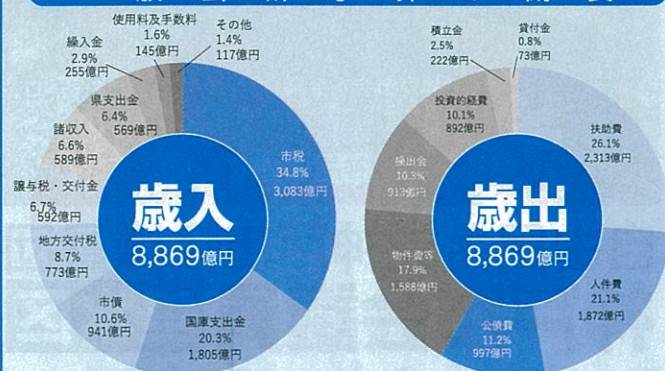
(前年比: +273億円)

●一般会計: 8,869億円(前年比: +165億円)
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などによってまかなわれます。

●特別会計: 6,605億円(前年比: +70億円)
特定の収入で特定の事業を行う会計です。国民健康保険や介護保険、市営住宅など、神戸市では11会計あります。

●企業会計: 3,330億円(前年比: +38億円)
主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で事業を行う会計です。バスや地下鉄、上下水道など、神戸市では7会計あります。

一般会計予算の概要



一般会計の支出を 58万円にします

市民一人あたりになると



新型コロナワクチン接種について 3回目接種予約のご案内など

※事前予約はホームページからが便利です。お電話でも予約可能です▶078-277-3320(平日:08:30~20:00 土日祝:08:30~17:30)
▶新型コロナウィルス専用健康相談窓口 078-322-6250(24時間受付 多言語対応)
●新型コロナウィルスの感染を心配されている方 ●予防・感染症に対する相談のある方 ●感染者と接触があった方

神戸市政報告

編集・発行:
自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
http://www.jimin-kobe.com



本会議場で質問する
神戸市議員
しらくに高太郎

福祉環境委員会 委員 神戸市議員 しらくに高太郎

令和4年第1回定例会市会にて、自由民主党神戸市会議員団を代表し、質問を行いました。ウラ面に質疑・答弁要旨を掲載いたしました。ご一読ください。

市政報告を作成致しました。ぜひ一読いただき、ご意見やご提案等いただければ幸いです。

令和4年度神戸市予算は市民の命と健康を守り、コロナ後の新たな時代をリードする施策を積極的に展開するものとなっています。この紙面に掲載出来ないこともたくさんございますが、引き続き、より良い神戸・垂水のまちづくり、そして神戸市政の発展に向けて地道に努力してまいります。

神戸市議員しらくに高太郎

福祉環境委員会での 主な質疑項目について

- 健康局**
 - 高齢者施設入居者の入院調整について。
 - PCR検査のCT値について。
 - ワクチン接種や帰国者の自宅療養管理について。
- 福祉局**
 - 駅舎のバリアフリー化について、県の「条件」の撤廃と拡充を要望。
 - 介護職等における人材派遣の実態について。
 - 医療的ケア児の相談支援体制について。
- 環境局**
 - 海洋プラスチック問題について。
 - 空き瓶収集について。

世界のパールブリッジを愛する会

Tio舞子店舗会の皆様を中心に、私と「世界のパールブリッジを愛する会inKOBEM舞子」という会を立ち上げ、神戸市、兵庫県関係者もご出席の下、発足式を行いました。明石海峡大橋の愛称はパールブリッジであり、本州側は、垂水区舞子の地であることをアピールしてまいります。(R3.10.30)

税財源の不均衡是正を要望

自民党本部において政令指定都市の市会議員が集まり、党所属国会議員に対し、国と地方の税財源の不均衡の是正を要望する「指定都市行財政問題懇談会」に副委員長として出席致しました。私からは固定資産税の軽減措置と地方消費税の配分等について要望致しました。(R3.11.25)

平磯緑地内の遊歩道について

「平磯緑地内の遊歩道が暗い」というご相談がありましたので、平磯緑地と新しく出来る垂水体育館への歩道整備の状況を見てまいりました。すでに東垂水駅の歩道橋から西側については、ベンチの設置や街灯周辺の樹木の伐採を予定していただいておりますが、東側の遊歩道へも光を入れ、そして、塩屋漁港の美しい海が見えるように申し入れしました。(R4.1.28) →今年度中に整備をしていただくことになりました。

ロシアのウクライナ侵攻に抗議

神戸市会臨時本会議が開会され、「ロシアのウクライナ侵攻に対し、厳重に抗議の意を表す決議」が満場一致で採択されました。(R4.3.1)

「事業復活支援金」の受付が始まっています

申請期間 2022年5月31日まで。

中小企業庁 コロナの影響で売上減少している事業者の皆様へ、「事業復活支援金」の受付が始まっています。中小法人は上限最大250万円、個人事業者は上限最大50万円を支給。給付対象の条件や申請方法につきましては、下記でご確認ください。

お問い合わせ
事業復活支援金コールセンター
08:30~19:00(全日対応)
0120-789140

給付額		法人		
中小法人等	上限最大 250万円	個人	年間売上高 ^{※2} 1億円以下	年間売上高 ^{※2} 1億円超~5億円以下
個人事業者等	上限最大 50万円		年間売上高 ^{※2} 5億円超	
給付額 基準期間 ^{※1} の売上高-対象月の売上高×5か月分				
※1 2018年11月~2019年3月/2019年11月~2020年3月/2020年11月~2021年3月のいずれかの期間(基準月を含む期間であること)				
給付上限額				
売上高減少率	個人	年間売上高 ^{※2} 1億円以下	年間売上高 ^{※2} 1億円超~5億円以下	年間売上高 ^{※2} 5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%以上50%未満	30万円	60万円	90万円	150万円
※2 基準月を含む事業年度の年間売上高				



令和4年第1回定例会 代表質疑

自由民主党神戸市会議員団

しらくに高太郎

令和4年2月24日

1. 人口減少社会におけるまちづくりについて

■質問: しらくに高太郎

人口減少でも市民満足度が高く、神戸の環境をいかし、活力あるまちづくりに重きを置いた政策展開が必要である。そこで、「用途地域の見直し」素案が公表されると聞か、その目的と効果、また住民への説明と理解が必要と考える。

また、空家・空地活用策全体の方向性と事業の関連性について伺いたい。

■答弁: 久元市長

今回の見直しは初めての試みで、地域特性に応じて「住みやすく働きやすいまちを実現すること」を目的とし、市域全体の人口減少対策へつながることを期待している。素案の公表と意見募集は、広報こうべ4月号に詳しい記事を掲載し、区域内は更に詳しい図面などを配布する。また住民説明会も行い、素案の丁寧な周知を行いながら、様々な意見を踏まえてこの素案についても見直し、最終案を固めたい。

基本は使える空家・空地は活用する。使えない空家は、特に危険な家屋は解体して土地の活用を図る、これが基本である。市内の地域に密着した建築家の皆さんにも参画いただき、空き家活用支援制度を立ち上げた。来年度は、各施策を整理統合しスピード感を持って取り組んでいきたい。

2. 女性の活躍推進について

■質問: しらくに高太郎

本市の30歳以降の女性就業率は、全国平均よりも低く、また新型コロナウイルスの影響を受けている観光・宿泊業、飲食業やアパレル業をはじめとする業界は、女性のパートやアルバイトの多い業種でもあり、女性の働く場の確保や働きやすい環境づくりが課題だ。また女性の活躍は、活力あるまちづくりの要であると考え。現状の課題認識と中長期的な視点による取り組みの方向性について伺いたい。

■答弁: 久元市長

平成27年の国勢調査で、市内の女性の就業率は、30歳代後半以降の年代で全国平均を下回り、就業構造基本調査によると、働く

自信がないために仕事を探していない女性が約9千人いると推計される。また、管理職の職業従事者に占める女性の割合は、16.3%という現状である。また、昨年の統計では、関西で保育所の待機児童が最も大きく減少した都市の一つに挙げられたので、子育て支援を進めることは重要と考えている。また、育児休業から円滑な復帰のサポートも重要。来年度は一時保育を週1日から5日に拡充し、子育て期の仕事と子育ての両立を全面的に支援していく。

2025ビジョンでは、令和7年度までに再就職やキャリアアップを希望する女性を3千人支援することを目標にしている。計画的に取り組んでいきたい。

3. カーボンニュートラルの実現に向けて

■質問: しらくに高太郎

太陽光発電設置条例を制定したが、令和3年度12月末時点での申請件数は3件と少なく、整備を断念する事業者もいると聞いている。10kwと小規模太陽光発電であっても大規模施設と同様の規制なので、安全性の確保を前提に、申請者の負担を軽くし一層導入を促進すべきではないか。

■答弁: 今西副市長

小規模であっても新幹線を止めるという大きな事故が発生しており、安全面の最低限の審査は必要と考えている。今後は事業者に施設基準の重要性を十分にご理解いただき、手引きの内容をさらに分かりやすく見直しに努め、より丁寧な説明を行ってまいりたい。

■質問: しらくに高太郎

カーボンニュートラルを実現するため、太陽光のみならず、神戸にある3つのダムや高低差のある送水管を利用し水力発電設備も有効であると考えがいかがか。

■答弁: 山本水道局長

水道施設の上部空間を利用した太陽光発電を7か所、また千刈ダムなど排水路へ送水する際の高低差を利用した水力発電も5か所導入している。水力発電が導入できる候補地を官民連携で調査したが、条件を満たす候補地は実際には限定的であるということが分かった。しかし、カーボンニュートラルへの貢献は非常に重要な課題なので、小規模発電施設が中心になってくると思うが、条件が整った場所には積極的に取り組んでいきたい。また来年度は、本山調整池での実現可能性の調査を予定している。

4. 神戸空港の国際化と利便性向上について

■質問: しらくに高太郎

第11回関西3空港懇談会で、2025年大阪・関西万博の開催やその後の成長を見据え、神戸空港の国際化を含む空港機能のあり方について、関西エアポートと本市が検討を深化させ次回の懇談会で報告することが合意された。神戸空港の国際化について、市長の想いを伺いたい。

■答弁: 久元市長

神戸空港の国際化に対する理解は、関西全体の関係者の間で

確実に深まっているということを感じることができた。次回懇談会では、関西連や関係自治体、国などの関係団体の協力の下、関西3空港の中で、神戸空港が関西経済の発展、関西3空港の互いの成長につながるような議論を行い、合意出来る取組を進めていきたい。

■質問: しらくに高太郎

神戸空港と新神戸駅のアクセス強化は従来からの課題だが、予算案では新神戸トンネル南伸部の事業化を検討する予算が計上されている。今後のスケジュールと道路ネットワークの充実の考え方とあわせて伺いたい。

■答弁: 油井副市長

新神戸トンネルの国道2号の出入り口から港島トンネルまでの約1キロはトンネルがなく、南伸部と国道2号に接続する南方面の出入り口を整備することで神戸空港と新神戸駅のアクセスが強化できるのではないかと考えている。今令和4年度は事業化に向けた詳細な整備効果の分析、環境アセスメントなどを行う予定である。大阪湾岸道路西伸部と合わせ、早期事業化を目指して努力する。

■要望: しらくに高太郎

ポートライナーが北埠頭からそのまま北へこの南伸部の地上に整備できれば理想だと思う。

5. 救急車の出動における課題について

■質問: しらくに高太郎

新型コロナウイルスの拡大による救急搬送困難事案は、全国で過去最多を更新している。これまでの成果と課題、コロナ収束後も見据え、どのような対策を講じるのか伺いたい。

■答弁: 油井副市長

救急搬送困難事案が令和4年1月中旬以降、多数発生している状況である。#7119や熱中症対策などにより救急車の適正利用が進んでいる。困難事案の増加に対しては、市内医療機関に受入を要請し、医療情報システムのICTの活用で適切な病院選定に繋がっている。また11月よりシニア健康相談ダイヤルも設置し不安解消につながるアドバイスや医療機関の案内等も実行している。今後もこれまでの取組を進めるとともに、医療情報システムの運用改善をし、必要な方に迅速に駆けつけられることが出来るようにしたい。

■質問: しらくに高太郎

現在、市内で複数の高齢者施設と民間病院が協力して協議会を立ち上げ、施設入居者の健康状況を提携病院と共有し、緊急時には病院内の民間救急車が出動し、受入れ可能な病院との調整を行うシステムを構築する動きがある。この救急車が運用できれば、協議会の高齢者施設以外の患者からの要請があれば、搬送可能と聞いている。増加する救急搬送の需要対策にも大いに寄与するものと受留めているので、神戸市としても医師会との調整や費用負担の軽減など積極的な支援を行うべきと考えがいかがか。

■答弁: 油井副市長

協議会を設立し医療介護の連携体制を実現することで安心して暮らせる地域社会の実現を目指して協議をされていると伺って

る。高齢者施設のみならず、事前に登録された高齢者が民間救急車により搬送が行われるのであれば、地域の高齢者にとって選択の幅が広がり、地域包括ケアシステムの実施や救急需要対策に繋がる可能性があると思っている。

現時点では、具体的にその内容は承知しないが今後協議会のご相談があればその内容を踏まえて必要な対応を検討してまいりたい。

6. 宿泊療養施設の受入体制の拡充について

■質問: しらくに高太郎

福祉施設でのクラスターが多発している状況で、コロナ陽性の入居者の多くは入院出来ず、施設で療養を続け、嘱託医や施設職員が日々奮闘している。この厳しい現実に対する思いは、保健所職員の皆様も同じ思いかと推察する。

今後は、ニチイだけでなく受入施設を早急に拡充し、また酸素投与が必要な要介護者に限定するのではなく、状態が悪化した場合は、入院困難という状況を鑑み、入所させる対応が出来ないのか見解を伺いたい。

■答弁: 小原副市長

人数に限りはあるが、2月5日からニチイ神戸ポートアイランドセンターで、要介護度の方で中等症の酸素投与が必要な方が入所出来る体制を整えた。また3つの宿泊療養施設は既に酸素供給設備を整備し、医師の電話往診体制も強化した。今後も高齢者施設で感染者が増え続ける場合には、医療が必要な患者を受け入れることが出来ないか、前向きに検討していきたい。



自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 垂水区
しらくに高太郎

より良い神戸・垂水へ。目標にダッシュ!!

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。※マスク着用。発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。



おかむら正之

I LOVE KOBE WE LOVE KOBE BE KOBE

ごあいさつ こんにちは、神戸市会議員のおかむら正之です。桜の花が咲くなか、希望にあふれ新生活をはじめられた方も多いと思います。新型コロナウイルス感染者数も減少の動きが見られ、市民の皆様のご協力のもと、段々と状況も落ち着いてまいりました。今後は、神戸の景気回復や市民生活の向上をめざし、迅速な景気対策を打ち出すことが重要です。おかむら正之は、議会・行政とともに尽力してまいります。



▲予算特別委員会【2022年3月3日】

豊かな海への取り組みについて

今年もイカナゴ漁の時期になりました。今月の1日にイカナゴ漁が解禁されたばかりです。昔はこの季節になると隣近所からイカナゴを炊いている匂いがして、春が到来したのを実感したものです。そのイカナゴの漁獲量が、近年激減しています。これは兵庫県民にとって一大事です。

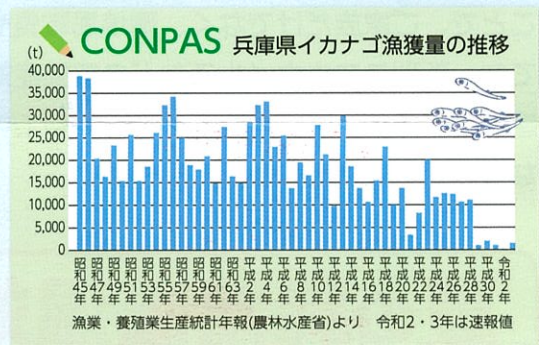
近年、瀬戸内海の海水中の窒素やりんなどの栄養塩類が減少しすぎたことが原因で、イカナゴ、タコなどの歴史的な不漁、ノリの色落ちなど、極めて深刻な問題が発生しています。さらに、養殖でノリを守るための薬剤が漁業に影響を与えている（特に黒メバルの稚魚・イカナゴなど）とも言われており、不漁の問題を根本的に解決していかなければ、ますます深刻化する危機的な状況にあります。

瀬戸内海、大阪湾全体として広域的に対策を進めるため、播磨灘ですでに設立されている「湾・灘協議会」の、大阪湾での設立に向けて働きかけるなど、環境局予算特別委員会において、関係機関と協力し取り組んでいく提案をしました。



▲ひょうごの春の風物詩
イカナゴ漁

水揚げされたイカナゴ▶



王子公園の再整備について

「王子公園再整備基本方針(素案)」において、神戸の国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致することが言及されています。県内にない特殊な学部で、市の将来に大きく寄与するということから、獣医学部がふさわしいと考えており、神戸医療産業都市との連携も期待できます。隣接する大学と協調することで、王子動物園の魅力向上につながるような再整備に取り組んでいきたいと思ひます。



魅力ある王子公園にするために

特徴ある動物の種類・展示方法
動物福祉の観点やワシントン条約による制約など動物園を取り巻く環境が変化中、王子動物園ならではの特長的な動物収集計画をたて、展示方法を工夫する。

動物とのふれあい体験
かつて実施していたアシカへの有料のエサやり体験のような、収入を増やしながら来園者が動物とふれあえる場をつくり、動物への理解を深める機会を増やす。

参加型の企画展
今年度はゴリラの空き獣舎を活用した企画展「ゴリラのいた丘」が好評でした。再整備を進める間も、空き獣舎を活用するなどし、他にはない参加型の企画展を実施していく。

大学との共存
大学だけが独立して存在するのではなく、王子公園全体の中に溶け込むような環境となるよう、エントランスや大学ゾーン東側の公園エリアを整備する。駅から王子公園・大学への動線を工夫することで一体感のある公園にする。



磯上公園整備について



「神戸市都市公園条例の一部を改正する条例の件」として、磯上公園球技場を廃止するとの条例改正案が上程されています。磯上公園は、夜間照明を使い、少年サッカーをはじめ多くの子どもたちが幅広い時間帯にスポーツ活動ができる貴重な拠点です。一方、磯上公園に近接したみなとのもり公園は、人々が憩い、くつろぎ、集うような緑地をめざして整備されており。また、市役所南の東遊園地は、緑に包まれた明るく開放感のある景観をめざして再整備が進められており、いずれも都心のオアシス的位置づけです。磯上公園を、みなとのもり公園や東遊園地と同じような都市緑地とするよりも、これまでの機能を少しでも維持するという視点が大切であると思います。体育館設置や代替グラウンド整備がされたことも考慮し、都心に存在する数少ない球技のできる場であった磯上公園をどのように整備していくのか、協議を進めてまいります。



▲磯上公園でサッカーの練習をする子どもたち



ごみ収集における新型コロナ対策について



新型コロナウイルス感染者が増加し、特に自宅療養者が増える中で、家庭ごみの扱いにも注意が必要です。収集場のごみ袋が破裂している場面を見かけることも多く、市民の方があとかたづけや掃除をする際も不安があるかと思えます。右の「ごみの捨て方」に沿っていただくことで、ご家族だけでなく、環境局職員や廃棄物処理業者の方にとっても、新型コロナウイルスなどの感染症対策として有効です。感染者が多く、感染力も高くなっていく中、ホームページ等でのさらなる周知や対策をはかっていきます。

- ①ごみに直接触れないようにごみ箱にゴミ袋をかぶせます。
- ②ごみ袋の空気を抜いてしっかりしばります。
- ③ごみを捨てた後は石鹸を使って手を洗いましょう。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

夏の異常高温対策について

夏季の異常高温対策として、ミスト広場の設置や道路への散水に加えて、神戸高専や神戸大学と連携して新技術を活用した対策を行っており、来年度も継続的な取り組みを予定しています。また環境局予算特別委員会では、身近な公園においても、幼児が簡単に水遊びのできるような施設を少しずつでも整備するよう、関係機関と協力し推進する提案をしました。



▲予算特別委員会【2022年3月7日】

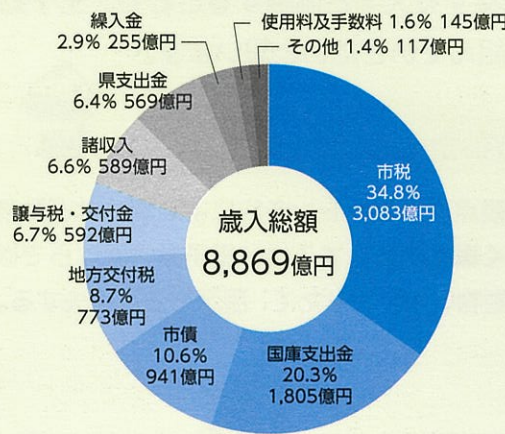
令和4年度 神戸市当初予算案

	令和4年度	令和3年度	増減(伸率)
一般会計	8,869億円	8,704億円	165億円(1.9%)
特別会計	6,605億円	6,535億円	70億円(1.1%)
企業会計	3,330億円	3,292億円	38億円(1.2%)
合計	18,804億円	18,531億円	273億円(1.5%)

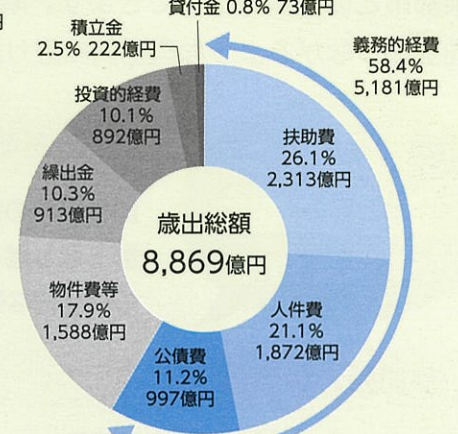
新型コロナウイルス感染症対応予算 182億円

- ▶ 感染防止対策・医療提供体制の安定的確保 163億円
- ▶ 市民への支援 4億円
- ▶ 市内事業者への支援 15億円

一般会計予算の概要【歳入】



【歳出】



質疑・答弁要旨

令和4年度 予算特別委員会 局別審査 自由民主党神戸市議員団 守屋隆司



港湾局

令和4年3月2日

1. 兵庫運河について

■質問: 守屋隆司

日本最大級の水域面積を誇る兵庫運河であるが、毎年台風になると多くのゴミが流れ込むとともに、満潮が重なる海から大きな波が打ち寄せ、一部の護岸に係留している船舶や係留設備などにも大きな被害が発生したケースもある。そこで、運河の入り口に波除けのようなものを設置して被害が軽減できるような工夫ができないか。水質も向上し、環境学習の場にも活用されている兵庫運河を守り続けていくためには是非検討していただきたいと考えるが、どうか。

■答弁: 長谷川港湾局長

船舶が入ってくる影響をどういう形で配慮するのか、それと、今は沿岸道路西伸部の事業、あそこで海上工事が今後行われる予定になっています。そういった海上工事の影響なども十分加味しながらの検討になるかと思います。国に支援いただく必要がありますので、連携しながらどういった波浪対策ができるのか検討してまいります。

2. 水上オートバイ等の航行禁止区域の設定について

■質問: 守屋隆司

昨年9月に淡路島で発生した事故を契機に、兵庫県内で水上オートバイ等の危険性について議論が行われてきた。神戸市としても、いち早く危険性や騒音対策等の面から、須磨海岸と兵庫運河の一部に航行禁止区域を設定し、海岸や運河を利用する人々の安全・安心を守ろうとすることは理解できる。一方で、マリネジャーとしてルールを守りながら楽しみたい人がいることも事実である。

そこで、条例改正による航行禁止については遵守させる一方で、一定の航行可能区域を設けて、安全に楽しめるエリアを設置することを検討してはどうか。見解を伺いたい。

■答弁: 松村港湾局副局長

条例改正の趣旨は、須磨海岸や兵庫運河の利用者の安全の確保、また騒音対策や水上バイク利用者の事故防止の観点からも、航行禁止区域を設定するというものです。

一定の航行可能区域を設けることにつきましては、マリネジャーとして安全に楽しむことができるエリアというふうに考えております。そのため、現状の神戸港では難しいものと考えており、神戸港外を含むより広いエリアでの検討ができないか、研究を行ってまいります。

3. 神戸空港との就航路線について

■質問: 守屋隆司

平成30年4月からの関西エアポートによる関空・伊丹との空港一体運用、またその後の発着枠の拡大と運用時間の延長などもあり、神戸空港の利便性は一層向上している。就航都市も13都市に増え、ビジネスや観光、文化など幅広い分野で活発な交流が広がることを期待している。

就航路線開設の決定は、空港運営者である関西エアポート神戸(株)と航空会社の間で行われるものと思うが、就航路線の更なる増加を実現すべく、神戸市としても何らかの関与ができるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。

■答弁: 長谷川港湾局長

神戸空港は全国13都市と直接結ばれ、地方管理空港の中ではトップです。今後就航先の自治体であったり、各エアラインと連携をしながら、各路線を育てていくことで次なる新たな路線の実現につながるものと考えております。しっかりと取り組んでまいります。

4. 「関西港」としての港湾管理の一元化について

■質問: 守屋隆司

神戸港は、大阪港とともに阪神国際港湾株式会社を立ち上げ、集貨・創貨・競争力強化を軸とした国際コンテナ戦略港湾施策を、国とも一体となって進めているところである。しかし、昨年12月に行われた兵庫県と大阪府の「兵庫・大阪連携会議」の場で、吉村知事から、大阪港湾局と神戸市、兵庫県が管理している大阪湾内の各港湾を一元化し、「関西港」として統合してはどうかとの提案がなされたとのことである。今後、2025年の大阪・関西万博の開催に向けて、大阪湾全体として協力していく必要性はあると思うが、この突然出された港湾管理一元化の提案に対し、神戸市としてどのような見解なのか伺いたい。

■答弁: 長谷川港湾局長

突然の話でございまして、私自身も驚き、困惑したというのが現状です。港湾の在り方については、神戸港は神戸市が港湾管理者として責任を持って運用しています。今後もその責任を全うしていくというスタンスです。

今年に入ってから大阪港湾局から申し出があり、オンラインでの意見交換を行った。2025の万博を見据えた形での海上交通、防災、環境、カーボンニュートラルなど大阪湾の活性化につながるような連携を進めることができないかという提案でした。こういった面であれば、今後も話し合えるのかなというところなんです。

5. ハーバーハイウェイにおけるETC導入について

■質問: 守屋隆司

ハーバーハイウェイは、六甲アイランド、三宮、ポートアイランドを最短で結び、阪神高速5号湾岸線にも連絡する、神戸港の円滑な物流を支える港湾幹線道路であるとともに、多くの市民も日常的に利用する大変利便な道路であるが、平日の昼間などには料金所付近で渋滞が発生している。ETCを導入し、渋滞解消と更なる利便性向上を目指すとのことであったが、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

■答弁: 松村港湾局副局長

ハーバーハイウェイは港湾物流車両を円滑に処理し、既成市街地の交通負荷軽減を目的に整備されました港湾幹線道路であるとともに、一般市民の方にも広く利用されている道路です。

夜間工事を中心に、慎重に工事を進める必要があるほか、新型コロナウイルスの影響によりまして、半導体や土木資材など一部の工専用資材の確保に時間を要する可能性があり、ETC工事の完了は令和5年の秋頃を予定しております。神戸港や市民の方々へのさらなる利便性向上に向け、安全面に注意しながら、着実に工事を進めてまいります。

6. 津波対策について

■質問: 守屋隆司

将来、発生すれば甚大な被害をもたらすであろう、南海トラフ巨大地震に伴う津波に対し、防潮堤の補強等に取り組んでいるとのことだが、現在までの進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

■答弁: 長谷川港湾局長

千年に1回のいわゆるレベル2への対応については、現在、97%でございまして、令和4年度には完了する予定で進めていく。

また、防潮堤の遠隔操作化を進めており、全部で78基のうち、令和3年度で43基、55%終了いたします。令和6年度の完成を目指して努力したいと思います。

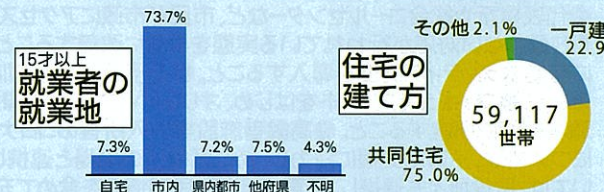


神戸市 南海トラフ巨大地震津波想定と津波への備え

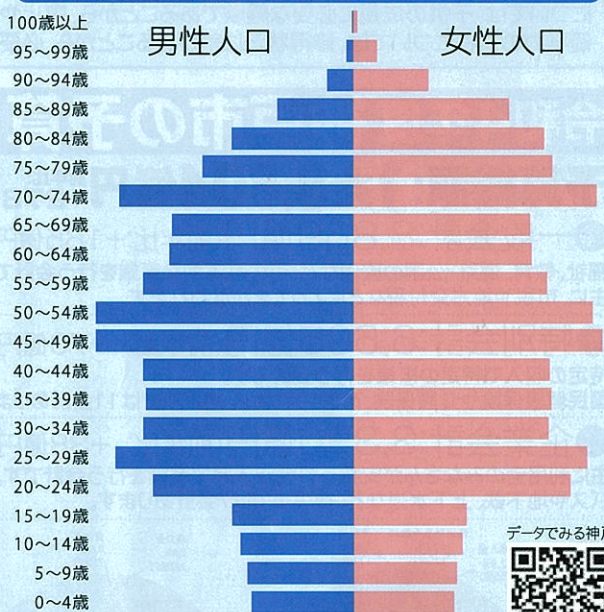


兵庫区の統計

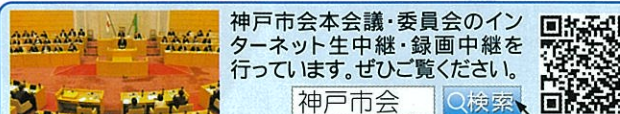
人口	108,827人
世帯数	61,770世帯
65歳以上割合	28.2%
15~64歳割合	62.2%
15歳未満割合	9.6%
単独世帯割合	56.6%
持ち家割合	39.9%



兵庫区の人口ピラミッド



毎月推計人口(2022年2月1日時点): 人口世帯数
住民基本台帳(2022年1月末日時点): 15歳未満割合 15~64歳割合 65歳以上割合 人口ピラミッド
国勢調査(2020年10月1日時点): 単身世帯割合 持ち家割合 住宅の建て方 15歳以上の就業者の就業地(2015年10月1日時点)



自由民主党神戸市議員団 神戸市議員 兵庫区 守屋隆司

まじめに働く方が、正しく報われる社会。

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴書の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。*マスク着用。発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。